

審議会等会議録

(敬称略)

会議の名称	令和4年度第1回加須市在宅医療・介護連携推進委員会（書面審議）
開催日時	【書面審議通知日】 令和5年3月8日（水） 【議決日（書面決議日）】 令和5年3月31日（金）
開催場所	—
議長氏名	福島祐一
出席委員	【書面審議を通知した委員】 加藤誠、福島祐一、武正寿明、湯橋崇幸、川俣和美、篠崎浩之、 松村卓哉、増田幸樹、石川誠一、渡邊英治、青木吉次、石川雄一、 平井喜一朗、尾高幸江、小谷野優子、木村美喜、野呂牧人、 中島謙悟、地主光枝、中村未央、橋本将来、田崎博己、田沼佐知子、 小野寺俊、民部田美保、渡辺正男、栗原智之、国分菜穂子、島田宗 紀、大熊誠
欠席委員	—
会議次第	1 審議事項 （1）市民向けリーフレット「通院・入院時あんしんセット」の 作成について （2）令和4年度アルブミン検査の実施結果報告及び低栄養の評 価等に関する相談について 2 報告事項 （1）認知症初期集中支援チームの活動状況等について （2）令和4年度における「人生会議」の普及啓発の実施状況に ついて （3）令和4年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（い きいき長寿保健事業）について （4）若年者在宅ターミナルケア支援事業について
会議資料の名称	資料1 市民向けリーフレット「通院・入院時あんしんセット」の 作成について 資料2 リーフレット標準例について 資料3 令和4年度アルブミン検査の実施結果報告及び低栄養の評 価等に関する相談について 資料4 認知症初期集中支援チームの活動状況等について 資料5 令和4年度における「人生会議」の普及啓発の実施状況に ついて 資料6 令和4年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

	(いきいき長寿保健事業) について 資料7 若年者在宅ターミナルケア支援事業について
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴者の数	—
説明者の職・氏名 (書面回答対応者)	福祉部高齢介護課長 山岸弘通、同課主幹 萩原宏和 健康医療部いきいき健康長寿課長 荒井幸子、同課主幹 栗原香
事務局職員職・氏名	同上
会議録の作成方法	要点記録
その他必要な事項	なし

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
<p>石川雄一委員</p> <p>栗原智之委員 事務局回答</p> <p>木村美喜委員 事務局回答</p>	<p><b>1 審議事項</b></p> <p>(1) 市民向けリーフレット「通院・入院時あんしんセット」の作成について</p> <p><b>【審議結果】</b> 承認する：30人 承認しない：0人</p> <p><b>【書面による意見等】</b> マイナンバーカードを保険証として利用することもできることから(紙の保険証は2024年秋に廃止予定)、マイナンバーカードの記述も検討したほうがよいと思う。</p> <p>マイナンバーカードは含めないのか。 備考として、一定の手続をすることによりマイナンバーカードを医療保険証としても利用できる旨を追記いたします。</p> <p>公費受給者証各種も通院・入院時に必要だと思う。 通院・入院時あんしんセットとして挙げた6種類のほか、備考として、自分で必要と思う大切なものの例示の1つに、公費負担医療助成の受給者証を追記いたします。</p>
<p>松村卓哉委員</p> <p>事務局回答</p>	<p>(2) 令和4年度アルブミン検査の実施結果報告及び低栄養の評価等に関する相談について</p> <p><b>【審議結果】</b> 承認する：30人 承認しない：0人</p> <p><b>【書面による意見等】</b> 低アルブミン血症をきたす疾患として肝硬変等の高度肝機能障害や慢性腎障害(CKD)等がある。これらの疾患の患者さんに栄養改善を目的とした高蛋白食を負荷すると、肝硬変の場合は高アンモニア血症、また、慢性腎障害の場合は更なる腎機能の悪化や尿毒症のリスクが上がる。すなわち、基礎疾患のステージに基づいた食事指導が必要である。</p> <p>低アルブミン血症の栄養指導に際しては、肝疾患、腎臓疾患の基礎疾患の有無を確認しながら、指導を進めてまいります。</p> <p>また、高齢者は自身の受療状況を把握していないこともあるため、血液検査データを総合的に確認してまいります。</p>
<p>尾高幸江委員</p>	<p><b>2 報告事項</b></p> <p><b>【書面による意見等】</b> (1) 認知症初期集中支援チームの活動状況等について 認知症初期集中支援チームの活動状況等についての「3 支援チームの実施体制等」の「(2) チームの役割」はすばらしいと思ったが、「(3) 支援チームの構成員」が14人というところで少々不安がよぎった。地</p>

<p>事務局回答</p>	<p>域担当制の採用で負担が軽くなると思っはいけない。ますます認知を疑わなければならない方が増えると思われるので、スタッフの確保は今後の課題になるかもしれないと思った。</p> <p>本市では、訪問等により最も地域の高齢者等の実態を把握している高齢者相談センターの専門職を認知症初期集中支援チームの「地域担当」とすることで、支援が必要な方を速やかに把握するとともに、認知症専門医及び地域の医療・介護の連携窓口である北埼玉在宅医療連携室の専門職と連携し、本人及びその家族に対する包括的な支援を行っています。</p> <p>認知症の方の更なる増加に対応していくため、研修の機会を通じてチーム員のスキルアップを図るとともに、医師会、歯科医師会、薬剤師会、認知症疾患医療センターなどの関係機関との連携を強化し、認知症の方の支援に取り組んでまいります。</p>
<p>野呂牧人委員</p>	<p>現在、健康手帳の配布がなくなり、ファイルのダウンロードで手に入るようになってきていると思う。</p> <p>市が実施している健診等の結果を記入していただくためにサロン等で配布すれば、通院・入院時あんしんセットに加えられるのではないかとと思う。</p>
<p>事務局回答</p>	<p>本市では、ホームページでのダウンロード形式による配布は行っておりませんが、40歳以上の方全員に郵送でお送りしているほか、いきいき健康長寿課（保健センター内）等の市の窓口や健診が受けられる市内の医療機関でも配布しているところです。</p> <p>現時点で、健康手帳を通院・入院時あんしんセットに加えることは考えておりませんが、健診等の記録を行うなど、市民の方がご自身の健康状態を把握できる重要なツールであることから、より多くの方に活用いただけるよう周知に努めてまいります。</p>
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>令和5年4月14日</p> <p style="text-align: center;">署名 _____</p>	